

音の出るフライングディスクの製作

1 相談内容

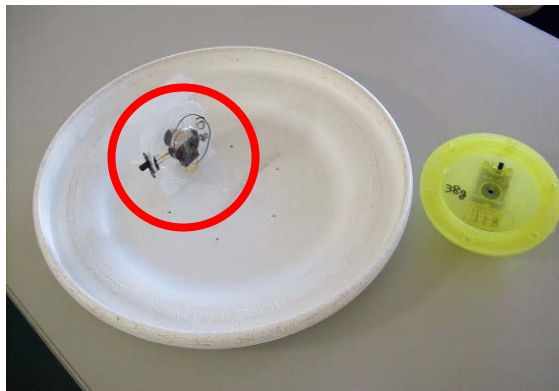
相談者はスポーツセンターの職員です。「毎月の種目別練習にフライングディスクがあり、視覚障害のある方(対象者)が参加しているので音が出て認識でき、その方向などがわかるようにできないか。」と相談がありました。そこでフライングディスクへ音源を付けられればできると考え、製作することにしました。

2 対象者プロフィール

60 代男性、身体障害者手帳 1 級です。視覚障害です。日常生活に必要なことはヘルパーに手伝ってもらっています。

3 対応

一次試作として電子ブザーにボタン電池(CR2032)をつなげて用意し、フライングディスク中央へ取り付けました。対象者に試していただいたところ、発生音が小さく体育館ではその音の認識が十分にできず、わかりにくかったようでした。なおこの試作品の重量は 10g でした。次にもっと音を大きくする必要があったため、二次試作として電子回路を組んでスピーカーから音を出す方式にしたところ、その重量は 18g になりました。



一次試作の外観



二次試作の外観

4 結果

この二次試作をスポーツセンターの職員へお渡しし、対象者に使っていただくこととしました。

5 予算

400 円程度